

名誉会員 元会長 井戸一朗氏を偲ぶ



井戸 一朗 氏 (1932 年 7 月 1 日生)

ご 略 歴

1957 年 早稲田大学理工学部卒業
山武ハネウエル株式会社 (現: アズビル株式会社) 入社
1978 年 同社 システム事業本部プロセス制御事業部技術部長
1984 年 同社 常務取締役 機器事業本部長
1986 年 同社 取締役副社長
1987～98 年 同社 代表取締役社長
1998～2002 年 株式会社山武 (現: アズビル株式会社) 代表取締役会長
2002～05 年 同社 相談役
2003～22 年 日本通信株式会社 社外監査役、社外取締役

本会および工業会関係 1993～94 年 計測自動制御学会 (SICE) 会長
1995～97 年 一般社団法人日本電気制御機器工業会
(現日本電気制御技術工業会) 副会長
1999～2000 年 同 会長
1997 年 一般社団法人日本電気計測器工業会
(JEMIMA) 会長
1998 年 SICE 名誉会員
2008 年 同 功績賞受賞

受 賞 等 2004 年 旭日中綬章受賞

本学会名誉会員で元会長の井戸一朗氏は 2026 年 1 月 25 日に 93 歳で天寿を全うされました。

氏は早稲田大学理工学部を卒業後、1957 年に山武ハネウエル(株)(現アズビル(株))に入社され、開発者、事業責任者として、プロセスオートメーションおよびファクトリ・オートメーションの分野で活躍されたのち、1987 年より同社代表取締役社長として、計測制御分野の発展および企業発展に貢献されました。1993 年の本学会会長就任をはじめ、関連工業会である日本電気計測器工業会 (JEMIMA) 会長 (1997 年)、日本電気制御機器工業会 (現日本電気制御技術工業会) 会長 (1999～2000 年) を歴任するなど、計測制御技術の発展と産業応用の普及、産学協働の推進にも貢献されました。

企業経営においても、明確なビジョンとリーダーシップをもって、長年の米国企業との資本提携・技術提携を計画的に終了し、新たな企業としての整備を進め、2000 年初頭からアズビル(株)の事業の再興の基盤を確かなものにされました。

筆者入社時は、プロセス産業関連の技術部長の職に就かれておりましたが、直属のラインではないプロセス産業現場での高度制御アプリケーションの業務についても熟知され、高い視座でフォローしていただいたことは記憶に新しいものです。その後、90 年代の終わりには社長直轄の産学協働プロジェクト、工業プロセス先端制御技術の実用化についての研究である「高度制御の蒸留プロセスへの適用 ベンチマーク・スタディ」(1997 年成果発表) を発足させ、当時の東京工業大学 (現東京科学大学) の古田勝久教授と研究者の協力を得て、日本を代表する石油、化学、鉄鋼、ガラスなどのプロセス産業の若手制御技術者と当社の研究者・技術者での、産学(技術研究、メーカー、ユーザー)の横断的な研究をまとめた成果は記憶に残る内容となりました。氏がプロジェクト発足の経緯で示された、日本での制御技術における産業応用の連携の不足と国際競争での危機意識は、現在の計測制御の産学協働の課題を先取りした取組みと考えられます。

大好きなワインとゴルフとともに、社外取締役や学会活動など、産業に関わる活動が大変な勉強をされながら、亡くなる直前まで続けられたその姿を筆者も拝見しておりました。

やわらかな物腰の背景に強い意志と将来への展望を持った発言には、いつも教えられるところが多く、当社ご卒業の後も時々交流の機会をいただき、お亡くなりになる直前まで連絡を取らせていただいていただけに、突然の訃報に触れ、とても残念に存じます。

ここに、謹んで井戸一朗氏のご冥福をお祈り申し上げます。

曾禰 寛純

(アズビル株式会社アドバイザー、SICE 名誉会員・フェロー)